

みんなで考えよう！ 「仙台港の石炭火力発電所建設計画」

～知らなかった！！蒲生干潟のすぐそばに建つなんて～

2016年
12月18日(日)

14:00～16:30
(受付開始 13:30)

多賀城市民会館展示室
(定員：150名)

参加無料

現在、関西電力の子会社などが仙台港に石炭火力発電所「仙台パワーステーション」の建設を計画し、建設工事がどんどん進んでいます。この計画は、環境アセスメント法の対象規模11.25万kWをわずかに下回る設備容量のため、環境アセスメントも行われていません。私たち地域住民の健康、蒲生干潟をはじめとする生態系、被災地の復興、地球温暖化など様々な影響が考えられますが、この石炭火力発電所が具体的にどのような影響を及ぼしうのか、宮城県も、仙台市・多賀城市七ヶ浜町など関連の自治体も把握できていません。私たちは、1年以上前から市民の連名で事業者側に説明会の開催を求めてきました。しかし残念ながら「その必要はない」という回答でした。来年9月から運転開始予定という急ピッチで建設工事は進んでいます。多くの市民は建設計画の存在すら知らない状況です。私たちは、多くの人にこの問題を知ってもらおうべく、これまでの経緯を振り返り、石炭火力発電所がもたらす影響を考えるため、本シンポジウムを企画しました。友人やお知り合いにも声をかけて、ぜひご参加ください。私たちに何ができるのか、今後どうすべきか、一緒に考えましょう。

○プログラム

仙台パワーステーション建設をめぐる諸問題について
明日香 壽川(東北大学大学院 教授)

蒲生干潟と生物多様性
鈴木 孝男(みちのくベントス研究所)
熊谷 佳二(蒲生を守る会)

石炭火力発電の健康への懸念
水戸部 秀利(若林クリニック 医師)
広瀬 俊雄(仙台錦町診療所・産業医学センター 医師)

地球温暖化に対する影響
桃井 貴子(気候ネットワーク 東京事務所長)

総合討論／質疑応答
コーディネーター:長谷川 公一(東北大学大学院 教授)
諸岡 浩子



参加お申込

以下のURLあるいはQRコードからお申込み下さい。裏面のフォームでFAXのお申込みも可能です。
(事前申し込みなしでも参加可)

<https://goo.gl/kJE5bv>



主催:仙台港の石炭火力発電所建設問題を考える会
共催:蒲生のまちづくりを考える会、蒲生を守る会、気候ネットワーク
協力:エネシフみやぎ、FoE Japan、NPOきらきら発電市民共同発電所、里浜ネットワーク、生活協同組合
あいコープみやぎ、せんたい東部復興市民会議、仙台湾の水鳥を守る会、脱原発仙台市民会議、日本科学者
会議宮城支部、(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)、宮城県働く人の健康と環境改善をす
ずめる会、みやぎ生活協同組合

連絡先:明日香壽川研究室 東北大学東北アジア研究センター／環境科学研究科
電話:022-795-7557 Email: asuka@cneas.tohoku.ac.jp

F A X 番号 03-3263-9463

みんなで考えよう！

「仙台港の石炭火力発電所建設計画」

～知らなかった！！蒲生干潟のすぐそばに建つなんて～

F A X 申込用紙

12月18日（日）14：00～16：30（受付13:30～）
@多賀城市民会館展示室

お名前	
ふりがな	
ご所属	
連絡先電話番号	
連絡先Eメールアドレス	
年齢（該当に○）	10代・20代・30代・40代・50代・60代以上
どこでこのイベントの情報を知りましたか？	①FACEBOOK・TwitterなどSNSの案内で ②チラシを見て ③知人の紹介 ④インターネットの検索 ⑤その他
本イベントで得たい事、知りたい事などありましたがご自由にお書きください。	